

陸上競技

1 日 時

令和7年	9月27日(土)
監督会	8:45
開始式	9:20
競技開始	10:00

2 会 場 生目の杜運動公園 陸上競技場

3 競技種目 男子(17種目)

1 年 100m 200m 1500m 3000m 100mH
 2 年 100m 200m 1500m 3000m 110mH
 共 通 400m 800m 走高跳 棒高跳 走幅跳 砲丸投 4×100mR

女子(13種目)

1 年 100m 200m 800m 80mH
 2 年 100m 200m 800m 100mH
 共 通 1500m 走高跳 走幅跳 砲丸投 4×100mR

4 出場制限

- 1人1種目(リレーは除く)とする。
- 各学校1種目に何名でも出場できる。(県大会は同一種目各学校上位3名まで)
- リレーは1校1チーム(6名以内)とする。

5 競技規則

- 令和7年度、宮崎地区中学校体育大会実施要項に準ずる。
- 2025年日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会規則による。
- 競技場は全天候舗装である。また、競技用靴については、シューズに関する競技規則を適用する。ただし、フィールド種目において、競技用シューズの靴底の厚さの規則については適用外である。

6 競技方法 (1) 競技者注意事項

- ① 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟規則および本大会要項により実施する。
- ② 招集について(招集所は100mスタート側の器具倉庫内)
 - ・ 選手は招集時刻までに招集所に集合し、チェックを受ける。その後、役員の誘導に従い競技場に入場する。
- ③ 招集時刻は次の招集時刻一覧表のとおりとする。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	競技開始30分前	競技開始20分前
投てき競技	競技開始40分前	競技開始30分前
跳躍競技	競技開始50分前	競技開始40分前
棒高跳	競技開始60分前	競技開始50分前

※ 競技者は、競技順序記載の該当する組の競技時刻に合わせて、点呼を受けること。

- ④ 招集完了時刻に遅れたものは欠場とみなし、出場を認めない。(但し、他種目に出場中は代理でも可)
- ⑤ リレーのオーダー用紙は当該種目、第1組目の招集完了時刻1時間前までに、招集所に提出すること。オーダー用紙は招集所に準備する。

(2) 番組編成について(レーン順・試技順)

トラック競技のレーン順とフィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の各競技者の登録番号の左に数字で示す。

(3) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

- ① バーの上げ方については、次のとおりとする。

走高跳	男子	1 m 2 5	1 m 3 0	1 m 3 5	1 m 4 0	1 m 4 5	1 m 5 0	1 m 5 5	1 m 6 0	1 m 6 5	1 m 7 0	以後 3 cm
	女子	1 m 1 0	1 m 1 5	1 m 2 0	1 m 2 5	1 m 3 0	1 m 3 5	1 m 4 0	1 m 4 5	以後 3 cm		
棒高跳	男子	1 m 9 0	2 m 0 0	2 m 1 0	2 m 2 0	2 m 3 0	2 m 4 0	以後 10 cm				

- ② 練習開始の高さは、走高跳男子1m20、同女子1m05、棒高跳1m70とする。
- ③ バーの上げ方、開始時の高さについては、天候その他の特殊事情によって、審判長・専門委員長が変更する場合がある。
- (4) ハードル競技のインターバルについて

性別	種目	ハードルの高さ	インターバル			ハードル台数
			スタートから1台目	ハードル間	最終ハードルからゴール	
男子	110mH	91.4cm	13.72m	9.14m	14.02m	10台
	100mH	84.0cm	13.00m	8.50m	10.50m	10台
女子	100mH	76.2cm	13.00m	8.00m	15.00m	10台
	80mH	76.2cm	12.00m	7.50m	15.50m	8台

- (5) 学校対抗得点について
- ① 得点は1位6点、2位5点とし、以下1点ずつ減じ6位を1点とする。
- ② 1校から3名以上出場している種目の学校対抗の得点は、その学校の上位3名までの得点を計上する。
- ③ 学校対抗の得点が同点の場合は、優勝種目数で上位を決定する。また、優勝種目数が同じ場合は、2位種目数→3位種目数→・・・6位種目数の順で、上位を決定する。
- (6) 県大会出場について
- ① 令和7年4月1日から10月3日に、宮崎県中学校秋季体育大会陸上競技大会参加標準記録(別表)を突破した者が出場権を得る。
- ※ リレーについては、記録に関係なく県大会に出場できる。
- ② 1種目、同一校から3名までとする。(宮崎県中学校秋季体育大会陸上競技大会参加標準記録を突破した者が4名以上いた場合でも、その学校の上位3名までしか県大会には出場できない。)

7 表彰 男女別団体、各種目3位まで表彰する。

8 参加申込 (1) WebEntryシステムを用いた申込とする。宮崎県中体連陸上競技専門部サイト(<https://mzc.meet7.org/>)内にある「大会申込」より下記の申込締切日までに申し込むこと。

【大会全般に関する問合せ先・申込に関する問合せ先】 大 淀 中 河 野 真 和 Tel (0985) 51-3700 【 申 込 締 切 日 】 令和7年8月28日(木)
--

- (2) 宮崎県中体連陸上競技専門部サイト(<https://mzc.meet7.org/>)内に掲載する学校申込書を作成および印刷し、上記の申込締切期日までに各地区事務局へ2部提出すること。(学校申込書をメール送信する必要はない。)
- (3) 申込に際し、記入もれのないように注意すること。なお、WebEntryシステム以外での申込は受け付けない。また、申込締切後の受付は一切行わない。

9 その他

- (1) 大会当日の練習は、指定されたところで行うものとする。
- (2) 競技中に雷や雷雨等が発生した場合には、大会本部で協議し、競技中断、順延、競技時間の変更等の対応をする。

バレーボール競技の部

1 日 時	令和7年	9月27日(土)	9月28日(日)	9月29日(月)
	開 館	8:15	9:00	9:00
	代表者会	8:30	9:15	9:15
	競技開始	9:15	10:00	10:00
		(1回戦、2回戦)	(準々決勝、代表決定戦)	(準決勝、決勝、代表決定戦)

2 会 場 宮崎県体育館、佐土原西体育館、佐土原中学校、広瀬中体育館、久峰中体育館

9月27日(土) 佐土原西体育館、佐土原中学校
 広瀬中体育館、久峰中体育館
 9月28日(日) 佐土原西体育館、佐土原中学校
 広瀬中体育館、久峰中体育館
 9月29日(月) 宮崎県体育館

3 役 員 部 会 長
 総 務 渡部慎一(大塚)
 総 務 員 徳永幹太(久峰)、後藤由紀(本庄)、上杉秀人(木花)、瀧下秀樹(大淀)、
 吉田英治(広瀬)、小泉敬信(加納)
 会場主任 大西莉愛(佐土原)
 審判主任 矢野雄大(宮大附属)
 審 判 員 日本バレーボール協会公認審判員、宮崎県バレーボール協会公認審判員、
 各中学校バレーボール部顧問
 救 護
 記録責任者 戸高靖友(日向学院)
 会 計 馴松郁美(本郷)
 生徒役員 各会場全チームで行う。

期 日	27日(土)	27日(土)	27日(土)	28日(日)	28日(日)	29日(月)
会 場						
会場責任者						
部 会 長						
救 護						
競 技						
審 判						
会 計						
記 録						

4 競技規則

- (1) 令和7年度日本バレーボール協会競技規則並びに本大会競技規則による。
- (2) ネットの高さは男子2m30cm 女子2m15cmとする。
- (3) ユニフォームの背番号は1番～18番とする。
- (4) 監督・コーチ・マネージャーは、規定のマークを左胸部に付けること。また、監督・コーチの服装は、統一されたものとする(同じ物とする)。
- (5) フロアへの立ち入りについては、原則として監督・コーチ・マネージャーならびに当該校の部員のみとする。なお、公式練習からはエントリーメンバーのみとする。

5 その他

実施要項、役員資料、組合せ、ラインナップシート、エントリー用紙等については、宮崎地区中体連バレーボール競技専門部のホームページ(myzckhikuvb7774.wix.com/index)上に掲載されていますので、各チームで準備してください。

軟式野球競技の部

1 日 時

令和7年	9月27日(土)	9月28日(日)	9月29日(月)
監督会	8:15		
競技開始	9:15	9:15	9:15

2 会 場 久峰公園野球場 綾錦原野球場 県総合運動公園A・B球場

3 参加資格 宮崎地区中学校秋季体育大会開催基準に則る。

4 出場制限 宮崎地区中学校秋季体育大会開催基準に則る。

5 競技規則

- (1) 2025年軟式野球競技規則ならびに本大会規則とする。
- (2) コールドゲームは3回終了後15点差以上、5回終了後7点差以上に適用する。
(決勝戦も含む。)
- (3) 雨天・日没により試合続行不能の場合は、翌日継続して行うサスペンデッドゲームを適用する。尚、雨天等による大会実施可否の判断及び日程の変更については、大会実行委員会で決定する。
- (4) 7回終了時に同点の場合、8回以降はタイブレーク方式を適用する。タイブレーク方式は、継続打順で前回の最終打者を1塁走者、その前の打者を2塁走者とする。すなわち、無死1塁・2塁の状態にして、1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、さらに継続打者でこれを繰り返す。なお、7回までと同様、規則によって認められる選手の交代は許される。
- (5) ユニフォームは統一し、背番号は必ずつける。尚、番号は1番から25番の通し番号とし、原則としてポジション順とする。
- (6) 監督はチームと同一でのユニフォームとし、背番号30番をつける。また、コーチは平服(白を基調としたポロシャツ・同一の野球帽)もしくは、チームと同一のユニフォームとし、背番号29・28番をつける。但し、サッカーを兼ねる場合は、チームと同一のユニフォームを着用する。また、マネージャーは当該校の制服を着用する。
- (7) シートノックは行わない。
- (8) チームは、監督1、コーチ2、選手25、マネージャー1とする。登録された監督・コーチ・選手・マネージャー以外はベンチに入れない。また、ベンチは抽選番号の若い方を一塁側とする。(外部指導者のベンチ入りは 中体連承認者に限る)
- (9) 第1試合のメンバー用紙交換及び攻守決定等は、試合開始時刻の40分前とし、その他の試合については、前試合の4回終了時とする。(メンバー用紙は読仮名つきのものを5通持参)
- (10) 同一チームが連続して試合を行う場合の2試合目の開始時刻は、1試合目終了から40分後を原則とする。なお、メンバー用紙交換及び攻守決定等は、試合開始時刻の20分前とする。
- (11) ベンチのメガホンは1個とする。(使用は監督のみとする)
- (12) 抗議は、監督または当該プレーヤーのみが行うことができる。
- (13) 競技に関する連盟特別規則(監督またはコーチ等が投手の所へ行く回数の制限、守備側のタイムの回数制限、攻撃側のタイムの回数制限)を適用する。
- (14) 規則5. 10d【原注】「同一イニングでは、投手が一度ある守備位置にいたら、再び投手となる以外他の守備位置に移ることはできないし、投手に戻ってから投手以外の守備位置に移ることもできない。」は適用しない。
- (15) 手袋を使用する場合は、白または黒の同一色のもののみ許可する。
- (16) 捕手は、ファウルカップを使用すること。
- (17) 投手の投球数制限について、軟式野球連盟「競技に関する特別規則」を適用する。ただし「1週間で350球以内」は適用しない。

6 競技方法 トーナメント方式

7 使用球 (公財) 全日本軟式野球連盟公認球M号球を使用する。

8 組合せ 組合せは、9月5日(金) 宮崎地区中学校体育連盟理事・専門部合同会において、各校体育主任の抽選で行う。

9 表 彰 (1) 優勝校には優勝旗・賞状を、2位～3位には賞状を授与する。 (2) 1位～3位の登録全選手に個人賞状を授与する。

10 審 判 宮崎地区軟式野球連盟審判員及び宮崎地区中学校教員に委嘱する。

11 参加申込 所定の用紙により、体育主任を通じて**8月28日(木) 正午**までに地区中体連事務局(大宮中学校)へ2部提出。以後の受付はしない。

12 その他 (1) 参加チーム数によって、県大会出場チーム数が決定する。 (2) 参加校は、ゴミ入れ用の袋を準備し、責任を持って後片付けをすること。 (3) 組み合わせは、シード校を選出し適用する。 (4) 雷・雷雨・雷鳴の場合は中断とする。詳細な対応については大会本部(部会長・競技専門部)で判断し決定する。

ソフトテニス競技の部

1 日 時

女子	令和6年	9月27日(土) 団体戦 ベスト8まで	9月28日(日) 団体戦 決勝まで 個人戦 ベスト64まで	9月29日(月) 個人戦 決勝まで
男子	令和6年	10月4日(土) 団体戦 ベスト4まで	10月5日(日) 団体戦 決勝まで 個人戦 ベスト64まで	10月6日(月) 個人戦 決勝まで
共通	受付	8:15	8:15	8:15
	監督会	8:50	8:50	8:50
	開始式	9:15	団体戦終了後休憩をはさみ個人戦開始式	—
	競技開始	9:30	9:10	9:10

※予備日(女子…9月30日(火)～10月2日(木) 男子…10月7日～9日)

- 2 会場 生目の杜運動公園 テニスコート
- 3 参加資格 宮崎地区中学校体総合体育大会開催基準に則る。
- 4 出場制限 団体戦 各校4人～8人編成による1チーム
個人戦 各学校8ペア以内とする。
- 5 競技規則 (1) 現行の日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブック及び本大会競技規則による。
ゲームはすべて7ゲームマッチとする。
(2) 服装は「上はゲームシャツ、下は膝丈よりも上のパンツまたはスカート」を着用すること。
(3) ストリングに装着する衝撃吸収材は使用しない。ストリングは単色とする。
(4) シューズはテニス用のものを使用すること。
(5) 選手は、背部(県名・学校名・姓)にゼッケンをつけること。また、監督証(県名・学校名
監督)を見えるように身につけること。
(6) 団体戦のオーダーはその都度提出する。
(7) ベンチ入りは、選手と登録された監督・コーチのみとする。サイドコーチは禁止する。
(8) 団体戦決勝トーナメントは2点先取とする。但し、進行の都合により3面同時展開で行うこともある。
- 6 競技方法 団体戦 予選リーグ、決勝トーナメント方式
個人戦 トーナメント方式
- 7 使用球 公認球(白色)とする。(男子:ケンコー、女子:アカエム)
- 8 組合せ 組合せは、9月5日(金)宮崎地区中学校体育連盟理事・専門部合同会において、各校体育主任の抽選で行う。個人戦の組合せは、宮崎地区中学校体育連盟ソフトテニス競技専門部会で行う。
- 9 表彰 団体、個人ともに3位までを表彰する。
- 10 審判 宮崎市ソフトテニス連盟役員、専門員、選手相互で行う。
- 11 参加申込 所定の用紙により、体育主任を通して**8月28日(木)**までに地区中体連事務局(大宮中学校)に提出すること。さらに、男子は専門委員長(有川)、女子は専門副委員長(古木)に、その様式のデータをc4t.hで送付すること。以後の受付はしない。
- 12 その他 (1) **開会式を行う。**
(2) 雷・雷雨・雷鳴の場合は中断とする。詳細については大会本部(部会長・競技専門部)で判断し決定する。
(3) 団体戦、個人戦ともにシード制を導入する。
(4) 参加校は、ゴミ入れ用の袋を準備し責任を持って後片づけをすること。
(5) 審判については各学校で指導を徹底しておくこと。

卓球競技の部

1 日 時

令和7年	10月4日（土）団体戦	10月5日（日）個人戦
監督会	8：40	8：40
開始式	9：00	9：00
競技開始	9：15	9：15

2 会 場 佐土原体育館

3 参加資格 宮崎地区中学校秋季体育大会開催基準に則る。

4 出場制限 団体戦 各学校1チーム（2名以内の補欠選手の登録を行い、その内の選手変更を認める） 個人戦 各学校各学年8名まで

5 競技規則

- 現行の日本卓球ルール及び本大会規則とする。
- ゼッケンは必ずつける。
- チーム編成は次の通りとする。
 - 試合順は単、単、複、単、単とし、単と複は兼ねられない。
 - チームは各学校男女1チームずつとし、6～8名で編成する。
- ベンチは次の通りとする。
 - 団体 監督・コーチ（部顧問・副顧問の当該校教員、部活動指導員と認定済外指導者のうち2名まで）、登録選手4～8名
 - 個人 ベンチコーチは1名可（団体に準ずる者またはチーム内選手から1名）
- 服装は、日本卓球協会公認のユニフォームとする。シャツの裾を外に出したり、袖をまくったりすることはしない。

6 競技方法

- 団体戦は予選リーグ、決勝トーナメント方式とする。決勝トーナメントの1回戦は、同パートのチームと当たらないよう配慮した上で、くじ引きを行い、組合せを決定する。
- 団体戦は3点先取で勝敗を決する。
- 個人戦はトーナメント方式とする。決勝戦と3位決定戦を行う。また、必要がある場合は、県大会出場枠に応じて決定戦を行う。
- 各試合とも11点5セットマッチとする。
- 団体戦で定数に満たないチームは欠員のまま参加を認めるが、その欠員は、オーダーの若い順の所とする。（5名の場合1番棄権、4名の場合1・2番棄権）

7 使用球 使用球は日本卓球協会使用指定球（40mm）

8 組合せ 組合せは9月5日（金）宮崎地区中学校体育連盟理事・専門部合同会において、各校体育主任の抽選で行う。

9 表 彰

- 団体戦優勝校に優勝旗、賞状を、2位～3位校に賞状を授与する。
- 団体戦1位～3位の登録全選手に個人賞状を授与する。
- 個人戦1位～3位には賞状を授与する。

10 審 判 宮崎市卓球連盟審判員・団体戦は相互審判・個人戦は敗者審判

11 参加申込

所定の用紙により体育主任を通して **8月29日（金）正午**までに2部、地区中体連事務局（大宮中学校）に申し込むこと。申し込み期日以後は受付けない。
 また、申込書のデータを専門委員長へメールまたはC4thの個人連絡で送信すること。
 データの申込期日 **8月29日（金）正午（組み合わせ作業に必要、必ず送信をお願いします）**
 宛先 本郷中学校 細川 昇吾（メール shogo-hosokawa@miyazaki-c.ed.jp）

12 その他

- 県大会出場枠は比例代表制とする。
- 団体戦・個人戦とも組合せは、フリー抽選とする。
- 個人戦の県大会出場者の順位（ランキング）は、ベスト4の選手に準じて決定する。

弓道競技の部

- 1 日 時
- | | |
|------|----------|
| 令和7年 | 9月28日(日) |
| 監督会 | 8:30 |
| 開始式 | 9:15 |
| 競技開始 | 9:45 |
- 2 会 場 ひなた武道館 弓道場
- 3 参加資格 宮崎地区中学校総合体育大会開催基準に則る。
- 4 出場制限 (1) 団体戦は3名1組、**チーム数は男女各学校6チームまでとする。**ただし、2名でも1チームとすることができる。
(2) 個人戦は団体戦に参加した者および団体戦に出場できない学校の男女各1名。
- 5 競技規則 (1) 近的 28m 的直径 36cm
(2) 令和7年度全日本弓道連盟競技規則ならびに本大会規則による。
- 6 競技方法 (1) 団体戦は、1人4本で3回総計36本の的中数により各学校1位のチームから上位4チームを選出し、1人4本・チーム12本による決勝トーナメントを行う。
(決勝トーナメントの組み合わせは、予選の的中数を反映し、1位上がり対4位上がり、2位上がり対3位上がりとする。) 同中の場合は、1人1本・チーム3本による競射を行う。
(2) 個人戦は、1回4本で3回総計12本の的中数により順位を決定する。なお、団体戦出場選手は、団体戦の個人的中数を適用する。
(3) 同中の場合は、団体戦・個人戦とも1本ずつの競射とする。ただし、個人戦において同中の場合は、優勝決定戦は射詰めとし、他は遠近法とする。
- 7 組 合 せ 組合せは、9月5日(金)宮崎地区中学校体育連盟理事・専門部合同会において、各校体育主任の抽選で行う。
- 8 表 彰 団体戦・個人戦とも3位まで表彰する。
- 9 審 判 宮崎県弓道連盟と監督で行う。
- 10 参加申込 所定の用紙により、体育主任を通して**8月28日(木)正午**までに地区中体連事務局(大宮中学校)へ2部提出。申込期日以後は受け付けない。
- 11 そ の 他 (1) 弓道着着用のこと。
(2) 女子はハチマキをすること。
(3) ゼッケンについては、各学校で参加選手分を準備すること。大きさは縦12cm、横18cm以内とし、右腰前につける。

サッカー競技の部

1 日 時

令和7年	9月27日(土)	9月28日(日)	9月29日(月)
開 始 式	8 : 4 5		
監 督 会	9 : 0 0	8 : 3 0	8 : 3 0
競技開始	1 0 : 0 0	9 : 3 0	9 : 3 0

2 会 場

生目の杜運動公園多目的グラウンドB (人工芝)
 生目の杜運動公園多目的グラウンドB (天然芝)
 綾町小田爪運動公園 (人工芝)
 ひなた県総合運動公園補助球技場 (人工芝)
 宮崎日大高校サッカー場 (人工芝2面)

3 参加資格

宮崎地区中学校秋季体育大会開催基準に則る。

4 出場制限

監督1・コーチ2・選手18

但し、選手交代は7名通告し、最大7名まで交代を認める。(一度退いた選手も再出場できる)

5 競技規則

(1) 2025年日本サッカー協会競技規則と本大会要項を適用する。

① 警告は累積され、2回の警告を受けた者は次の一試合に出場できない。

② 本大会で退場を受けた者は、次の一試合は自動的に出場を停止し、それ以降の処置については、本大会の規律委員会の裁定に従う。

※規律委員会のメンバーは宮崎地区中体連サッカー専門部で構成する。

(2) 試合時間は60分間とする。決しない場合は、PK戦により次回の出場チームを決定する。また、県大会出場が決定する試合以降は、10分間の延長戦を行い、更に決しない場合はPK戦により次回出場チーム及び、順位を決定する。

(3) 服装について

① シャツ・ショーツ・ストッキング・シューズ・レガースを必ず着用すること。

② ユニフォームには必ず番号をつけること。なお、番号は1～99番とする。

③ 色の異なる2着のユニフォームを持参すること。なお、ユニフォームは参加申込書に記入したものとする。参加申込書送付後の変更は認められない。また、背番号の変更も認めない。

6 競技方法

トーナメント方式による。

7 使用球

検定球5号ボールとする。

8 組合せ

組合せは、9月5日(金) 宮崎地区中学校体育連盟サッカー競技専門部において、各校体育主任の抽選で行う。

9 表 彰

3位まで表彰する。

10 審 判

宮崎県サッカー協会公認審判員及び各中学校チームスタッフ

11 参加申込

所定の用紙により、体育主任を通して8月28日(木) 正午までに地区中体連事務局(大宮中学校)へ2部提出すること。申し込み期日以後は受け付けない。

12 そ の 他

(1) 小雨決行。雷・雷雨・雷鳴の場合は中断とする。詳細な対応については大会本部(部会長・競技専門部)で判断し決定する。

(2) 審判員の判定を尊重し、各チーム・保護者を含めてスムーズな大会運営に協力すること。

(3) 比例代表制に基づいて県大会出場チームを決定する。なお、第3代表・第4代表第5代表・第6代表については、抽選にて決定する。

(4) 本大会はシード制を導入する。

(5) 試合当日は、試合前までにメンバー表を本部に提出すること。

バスケットボール競技の部

1 日 時

令和7年	9月27日(土)	9月28日(日)	9月29日(月)	9月30日(火)
監督会	8:15	8:15	8:15	8:15
開 場	8:30	8:30	8:30	8:30
競技開始	9:00	9:00	9:00	9:00

2 会 場 アリーナくにとみ 清武体育館 加納中学校

3 参加資格 宮崎地区中学校秋季体育大会開催基準に則る。

4 出場制限 (1) 宮崎地区中学校秋季体育大会開催基準に則る。
(2) 各学校1チームとし、監督・コーチ(2名以内)・マネージャー1名、選手15名、計19名以内とする。外部指導者がいる場合は、コーチに登録する。マネージャーは、同校バスケットボール部員とする。チームトレーナーについては、ベンチ後方に待機してもよい。

5 競技規則 (1) 2025年日本バスケットボール協会規則と本大会要項を適用する。
(2) 試合時間は、8分-2分-8分-10分-8分-2分-8分とする。
(3) ユニフォームは必ず濃・淡(淡は白色)2色を用意し、前後にユニフォームの色とはっきり区別できる単色の番号をしっかりとつける。リバーシブル及びビブスは着用できない。
(4) 抽選番号の若い方が淡色のユニフォームを着用し、ベンチはオフィシャル席に向かって右側とする。
(5) 1試合目のオフィシャルは、第3試合目のチームが行うこと。
(6) 2試合目以降のオフィシャルについては、1日目は前試合の勝者チーム、2日目以降は前試合の敗者チーム及び生徒役員で行う。

6 競技方法 トーナメント方式とする。

7 使用球 試合球について、男子は革張7号公認球、女子は革張6号公認球を使用する。

8 組 合 せ 組合せは、9月5日(金)宮崎地区中学校体育連盟バスケットボール競技専門部において、各校体育主任の抽選で行う。

9 表 彰 3位まで表彰する。

10 審 判 日本バスケットボール協会公認審判員

11 参加申込 所定の用紙により、体育主任を通して**8月28日(木)**までに地区中体連事務局(大宮中学校)へ2部提出すること。申し込み期日以後は受付けない。

12 その他 (1) 県大会に参加できるチーム数は、地区大会参加校数により決定する。
(2) シード制を導入し、県大会出場枠までをシードする。シード校の選出及びシード順位は、宮崎地区新人戦等の結果を参考に、地区中学校体育連盟競技専門部と理事会で検討し決定する。

柔道競技の部

1 日 時

令和7年	9月27日(土)	9月28日(日)
計 量	8:00～8:30	8:00～8:30
監 督 会	9:00	9:00
開 始 式	9:30	9:30
競技開始	9:40	9:40
競 技	団体戦	個人戦

※ ただし、参加人数によっては1日開催になる場合がある。1日開催になる場合には組合せ配付と同時にお知らせをする。また、個人戦のみの出場の選手については、前日(団体戦の日)に計量を行ってもよい。

2 会 場 ひなた武道館 柔道場

3 参加資格 宮崎地区中学校秋季体育大会開催基準に則る。

4 出場制限

- 男子団体戦 選手5名・補欠2名以内 ※ 但し、男子3名以上の編成を認める。
- 女子団体戦 選手3名・補欠1名以内 ※ 但し、女子2名以上の編成を認める。
- 男女個人戦

男 子		女 子	
階級	区 分	階級	区 分
50kg級	50kg以下	40kg級	40kg未満
55kg級	50kg超～55kg以下	44kg級	40kg超～44kg以下
60kg級	55kg超～60kg以下	48kg級	44kg超～48kg以下
66kg級	60kg超～66kg以下	52kg級	48kg超～52kg以下
73kg級	66kg超～73kg以下	57kg級	52kg超～57kg以下
81kg級	73kg超～81kg以下	63kg級	57kg超～63kg以下
90kg級	81kg超～90kg以下	70kg級	63kg超～70kg以下
90kg超級	90kg超～	70kg超級	70kg超～

5 競技規則 国際柔道試合審判規定(2020)・少年大会申し合わせ事項及び本大会申し合わせ事項による。

- (1) 絞技は禁止とし、施した場合には「指導」を与える。
- (2) 脊椎や頸椎に損傷をおこす可能性のある危険な攻撃を禁止する。これを侵せば反則負けとする。
- (3) 両膝つきの背負い投げをすることを禁止する。これを侵せば「指導」を与える。
- (4) けさ固めなどで頸または背骨に障害を及ぼすような動作をしてはならない。
- (5) 押さえ込み技をはずす動作の過程で、危険な状態と判断した時「待て」を宣告して立たせる。
- (6) 投げ技で投げられた者が技の効果以上の受け身をしたと認められるときは、技の効果をよく見極めて判定する。
- (7) 足を取ることを禁止する。1つの試合の中でこれを侵せば「指導」、これを3回繰り返せば「反則負け」となる。
- (8) ブリッジで受け身をすることは避けること。
- (9) 両袖を持つての技を禁止する。これを侵せば「反則負け」とする。
- (10) 試合中の審判員の「待て」から「始め」までの間に服装が乱れている場合には、服装を正さなければならない。(気付かなかった場合も含めて) 正さなかった場合は、1回目で口頭による注意、2回目で「指導」が与えられる。

- (11) その他自分自身にも身体に障害を起こすような動作は行わないこと。
- (12) 団体戦の試合時間は3分、判定基準は、「僅差」を取り入れ、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。したがって「僅差」は「指導」差が2以上から発生するが、優劣の成り立ちは以下になる。「一本」＝「反則勝ち」＞「技有り」＞「僅差」
- ① リーグ戦の成績は、次の順によって決定する。
- ア チーム間における勝ち・引き分け・負け率による。
 - イ アにおいて同等な場合は、勝ち数の合計による。
 - ウ イにおいて同等な場合は、勝ちの内容によって決定する。
 - エ ウにおいて同等な場合は、負けの数の合計による。
 - オ エにおいて同等な場合は、負けの内容による。
 - カ オにおいて同等な場合は、代表戦（1名）による。
- ② トーナメント戦の勝敗は、次の順によって決定する。
- ア チーム間における勝ち数の数による。
 - イ アにおいて同等な場合は、勝ちの内容により決定する。
 - ウ イにおいて同等な場合は、代表戦（1名）により決定する。
- ※ 団体戦の代表戦は、3分間とし、勝敗が決しない場合は時間無制限のゴールデンスコアを行う。
代表に出場する選手はチームで任意に選出する。
- (13) 個人戦の試合時間は3分、判定基準は「技有り」以上、または指導差が2以上からとする。ノースコア、または同スコア、指導差が1以下の場合で勝敗が決しない場合は時間無制限のゴールデンスコアを行う。その場合、最初の3分間の指導が勝敗に影響し、「技によるポイント」か「指導の数に差が生じた」時点で試合終了となる。
- (14) 団体戦のオーダーは、体重の軽い順に編成を行い、チームで体重が一番軽い選手が先鋒、一番重い選手を大将とする。但し、男子5名、女子3名に満たないでメンバーを編成するときは、男子は先鋒、次に次鋒、女子は先鋒を空きとし残りを体重順に編成する。補欠を選手に繰り入れるときも体重順に編成する。補欠と交代した選手はその後の試合には出場できない。なお、オーダーの変更の届けは監督のみとする。怪我等があり、選手変更届けを提出する場合は、補欠の選手を優先してメンバーに加えた後に、新たに變更した選手を補欠に入れること。補欠の選手を入れ替える場合は、そのまま入れ替えることができる。
- (15) 計量の服装は、男子は下穿きのみ、女子はTシャツと下穿きのみの着用とする。
尚、下着は認めるが、包帯・サポーター等の着用は一切認めない。（柔道衣等の重さは含まない。）
- ① 団体戦 ア チームごとに選手及び補欠の全員の測定を行うこと。
イ 順番の入れ替え等があった場合は通知する。
ウ 全員必ず下穿きを着用すること。
- ② 個人戦 ア 定められた階級の体重区分にない者は失格とする。
- (16) ゼッケンの着用
柔道衣にゼッケン（学校名・名字入り）を着用して試合をすること。ゼッケンを着用していない場合は失格とする。また、縫いつけが規定と違っている場合には失格となる場合がある。
- ① 布地は白色（さらし・太綾）
 - ② サイズ 横30 cm～35 cm、縦25 cm～30 cmのいずれかとする。
 - ③ 名字（姓）は上側2／3、学校名下側1／3
 - ④ 書体は横書きで、男子は黒色、女子は赤色
 - ⑤ 縫いつけの場合は後襟から5～10 cmのいずれかとし、下部の所で、まわりと対角線にも強い糸で縫いつけをすること。
- (17) 女子のTシャツについては、無地・丸首の白Tシャツとする。
- (18) 胸マーキング等について道場名は不可とする。
- (19) その他服装に関しては、国際柔道試合規定に準ずる。
- (20) 団体戦出場校は、下記のオーダー表を作成し、大会当日には必ず持参すること。

() 中	先	次	中	副	大	7 cm 20 cm	※ () は組み合わせ表の チーム番号 女子については、先、中、大 のみ記入。次、副は空欄。

19 cm 12 cm

(21) コーチの言動については以下の通りとする。

① 試合が止まっている間（「待て」から「始め」の間）のみ、選手に対して指示を与えることができる。
試合続行中は、選手に対して指示を与えることが許されない。

② 次の行為を禁止する。

- 試合が続行している最中に指示を出すこと。また試合中に立ち上がること。
- 審判員の判定に対し、コメントや批判、或いは訂正を要求すること。
- 対戦相手、審判員、役員、一般客、および所属選手を侮辱するよう行為。
- 広告看板や器具に触ったり、殴ったり、蹴ったりすること。
- その他、柔道精神に反する行為。

※なお、試合中に禁止行為があった場合、1回目は口頭注意、2回目は退場処分となり、その試合に限り、監督・コーチ席に入れない。

(22) 監督・コーチの服装については、審判服に準ずる。

6 試合方法 団体戦 リーグ戦、またはトーナメント方式 個人戦 トーナメント方式

7 組合せ 組合せは、9月5日（金）宮崎地区中学校体育連盟理事・専門部合同会において、各校体育主任の抽選で行う。個人戦の組合せ、宮崎地区中学校体育連盟柔道競技専門部で行う。

8 表彰 団体、個人ともに第3位まで表彰する。

9 審判 宮崎地区柔道会及び中体連柔道専門部

10 申し込み 所定の用紙により、体育主任を通して**8月28日（木）正午**までに地区中体連事務局（大宮中学校）へ2部提出。以後受け付けない。

11 その他

(1) 男子団体戦の県大会出場枠は地区大会団体戦参加校数により比例代表制とする。

地区大会参加校数	1 ～ 4	5 ～ 8	9 ～ 12	13 ～
県大会参加校数	2	4	6	8

(2) 女子団体戦は単一校チームの各学校単位とする。

(3) 男子個人戦は、各階級4名以内とする。ただし、同一階級で出場者が9名から16名の場合6名以内、17名以上の場合8名以内とする。

(4) 個人戦のみ、シード制を導入する。

(5) 脳震盪について、選手および指導者は下記事項を遵守する。

① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。

② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（尚、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること）

③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(6) 皮膚真菌症（トングラス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。

感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。
もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合がある。

(7) 感染症及び熱中症対策における競技方法や競技規則の変更があり得る。

剣道競技の部

1 日 時

令和7年	10月4日(土)	10月5日(日)
実施種目	男子個人戦・女子団体戦	女子個人戦・男子団体戦
開 場	8:00	8:00
個人練習	8:10 ~ 8:40	8:10 ~ 8:40
審判会	8:50 ~ 9:00	8:50 ~ 9:00
監督会・選手指導	9:00 ~ 9:20	9:00 ~ 9:20
開会式	9:30	(開始式) 9:30
競技開始	9:45	9:40
団体練習	男子個人戦表彰式後	女子個人戦表彰式後
閉会式		男子団体戦表彰式後

2 会 場 加納中学校体育館

3 参加資格 宮崎地区中学校総合体育大会開催基準に則る。

4 出場制限 (1) 個人戦は、男女とも出場制限を設けない。(団体戦と兼ねてよい)
 (2) 団体戦のチーム編成は、男女とも監督1名・コーチ1名・選手5名・補員2名の計9名以内とする。団体戦は5人制とする。ただし、3人制及び4人制でも参加できる。
 この場合のオーダー編成は次の通りとする。
 【3人制】先鋒・中堅・大将 【4人制】先鋒・中堅・副将・大将

5 競技規則 全日本剣道連盟試合・審判規則ならびに剣道試合・審判細則、宮崎県中学校体育連盟剣道競技「申し合わせ事項」による。

6 競技方法 (1) 個人戦は、男女ともトーナメント方式とする。また、県大会出場者選出が必要な場合は順位決定戦を行う。
 (2) 団体戦は、男女とも参加校数により競技方法を決定する。また、県大会出場校選出が必要な場合は順位決定戦を行う。
 (3) 団体戦は3分・3本勝負・延長なしとする。
 (4) 団体戦は、リーグ及びトーナメント方式とする。3分3本勝負とし、勝敗の決しない場合は、引き分けとする。リーグ戦において、得点(勝ち3, 引き分け1, 負け0)、勝数勝者数、取得本数がすべて同数の場合は、任意の代表者による代表戦を行う。決勝トーナメントに関しては、勝者数・取得本数が同数の場合は任意の代表者による代表戦を行う。
 (5) 団体戦において予選リーグを実施する場合、決勝トーナメントまたは決勝リーグへの進出校数は、参加校数により決定する。

7 組 合 せ 組合せは、9月5日(金) 宮崎地区中学校体育連盟理事・専門部合同会において、各校理事の抽選で行う。個人戦の組合せは宮崎地区中学校体育連盟剣道競技専門部で行う。

- 8 表 彰** (1) 個人戦1位～4位に賞状を授与する。
 (2) 団体戦優勝校に優勝旗と賞状、2位～4位校に賞状を授与する。1位～4位の登録全選手に個人賞状を授与する。
- 9 審 判** 宮崎県剣道連盟宮崎支部・東諸支部、宮崎県学校剣道連盟審判員で行う。
- 10 参加申込** 所定の用紙で2部作成し、体育主任を通して8月28日(木)までに地区中体連事務局(大宮中学校内)へ申し込むこと。同時に、配布されるExcelデータ(申込書)に入力し、競技専門委員長(宮崎中：小野 yusuke-ono@miyazaki-c.ed.jp)に送付すること。以後の申込は受け付けない。団体戦の出場校は、大会当日受付に四つ切りにしたオーダー表(市販されているものでもよい)とオーダー用紙2部を提出すること。なお、オーダー表については、中学校名の下に男女の別を記入すること。
- 11 その他** (1) 大会参加にあたっては、運営上の注意及び会場使用上の留意事項を厳守すること。
 (2) 県大会への出場選手・出場校数は、個人戦、団体戦とも団体戦参加校数による比例代表制で決定する。
 (3) 選手宣誓は、前年度団体戦優勝校とする。
 (4) 監督の服装は、正装を原則とする。個人戦の付き添いは1名まで認める。服装は剣道着・袴とし、選手席に座ることはできない。
 (5) 大会参加校は靴入れのビニール袋を各学校で用意し、靴を管理すること。
 (6) 紅白の目印は各学校で準備する。(目印は幅5cm、長さ全長70cmとする。)
 (7) 個人戦・団体戦に出場する選手は、必ず各自で竹刀点検を行うこと。

【 竹刀の基準 】

	対 象		中 学 生
長 さ	男 女 共 通		114センチメートル以下
重 さ	男 性		440グラム以上
	女 性		400グラム以上
太 さ	男 性	先端部最小直径	25ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	20ミリメートル以上
	女 性	先端部最小直径	24ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	19ミリメートル以上

*ちくとうは、竹刀の先端より80mm位置を計測する。

ソフトボール競技の部

1 日 時

令和7年	9月27日(土)	9月28日(日)
監督会	8:30	9:00
保護者代表者会	8:40	
開始式	8:50	
競技開始	9:30	9:30

2 会 場 ひなた宮崎県総合運動公園 運動広場(A・C)

3 参加資格 宮崎地区中学校秋季体育大会開催基準に則る。

4 出場制限 学校代表とし、監督1名・コーチ1名・選手18名(スコアラー含む)の計20名以内とする。ただし、部員不足による合同チームでの参加申請があった場合、宮崎地区中体連が認め、県中体連複数校合同チーム編成規定に適合したチームであれば参加も認める。

5 競技規則 (1) 2025年日本ソフトボール協会規則及び本大会要項による。
 (2) 3回以降15点差、4回以降10点差、5回以降7点差はコールドゲームとする。
 (3) 試合は、7回90分とする。90分を過ぎて新しいイニングに入らない。
 (4) リーグ戦とし、勝ち点制(勝ち3点、引き分け1点、負け0点)で行い勝ち点が同じ場合は直接対決の結果を優先する。それでも順位が決まらない場合はタイブレーカーを行い、順位を決定する。
 (5) 金属スパイクの使用は認めない。
 (6) バットは検定3号とする。また、捕手・打者・走者・次打者・コーチボックス内においてもヘルメットを着用すること。
 (7) ユニホームは統一し、背番号と胸番号を必ずつけること。なお、主将の背番号は10番とする。また、監督もユニホームを着用し、背番号は30番とする。
 (8) 捕手は、ヘルメット、スロートガード付きマスク、レガーズ、プロテクターを着用すること。

6 競技方法 決勝リーグ戦を行い、順位を決定する。ただし、出場校数により変更することもある。

7 使用球 使用球はゴム検定球3号とする。

8 組合せ 組合せは、9月5日(金)宮崎地区中学校体育連盟理事・専門部合同会において、各校体育主任の抽選で行う。

9 表彰 (1) 優勝校に、優勝旗・賞状を、準優勝、第3位の学校に賞状を授与する。
 (2) 優勝校、準優勝校、第3位の登録全選手に個人賞状を授与する。

10 審 判 宮崎市ソフトボール協会審判部に委嘱する。

11 参加申込 所定の用紙により、体育主任を通して**8月28日(木)正午**までに地区中体連事務局(大宮中学校)へ2部提出。以後の受付はしない。

12 その他 (1) 参加校はゴミ袋を準備し、責任を持って後片付けを行い持ち帰ること。
 (2) シートノックは、ユニホームを着用した監督・コーチが行うこと。

バドミントン競技の部

1 日 程

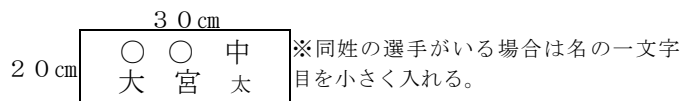
令和 7 年	9 月 2 7 日 (土) (団体戦)	9 月 2 8 日 (日) (団体戦・個人戦)	9 月 2 9 日 (月) (個人戦)
監督会	8 : 3 0	8 : 3 0	8 : 3 0
開 始 式	9 : 0 0		
競技開始	9 : 3 0	9 : 0 0	9 : 0 0

2 会 場 佐土原体育館

3 参加資格 宮崎地区中学校秋季体育大会開催基準に則る。

- 4 出場制限 (1) 団体戦は、各学校 1 チームとし、そのチーム編成は、監督 1 名、コーチまたはマネージャー 1 名、選手 5 ～ 7 名とする。ただし、本大会に限り登録選手が 3 名または 4 名での参加を認める。また、外部指導者は登録済みの者とする。
(2) 個人戦は、各学校シングルス 4 名、ダブルス 4 組までとする。

- 5 競技規則 (1) 令和 7 年度(公財)日本バドミントン協会競技規則並びに本大会要項を適用する。
(2) 団体戦・個人戦ともに同一選手が単と複を兼ねて出場することはできない。
(3) 競技時の服装は、日本バドミントン協会検定合格品とする。但し、学校指定の体育服は可とする。また、ソックスはくるぶしが隠れるものを使用する。
(4) 上衣背面上部に学校名・姓を明記する。
※ 文字の高さは 6 cm ～ 1 0 cm



- (5) 個人戦のベンチ入りについては、監督 1 名とコーチまたはマネージャー 1 名の 2 名まで入ることができる。

- 6 競技方法 (1) 団体戦は、予選リーグ及び決勝トーナメント戦方式とする。
(2) 団体戦は、複 2 組・単 1 名とし、複 1 - 単 - 複 2 の順で試合を行う。
(3) 団体戦の登録選手が 3 名、または 4 名の場合の競技方法は次の通りとする。
・登録選手が 3 名の場合は、第 1 ダブルスとシングルスとする。
・登録選手が 4 名の場合は、第 1 ダブルスと第 2 ダブルスとする。
(4) 個人戦は、トーナメント戦とする。
(5) 団体戦・個人戦ともに県大会出場数により代表決定戦を行う。

7 使用球 大会使用球は水鳥球(日本バドミントン協会二種検定合格球)を使用する。

8 組 合 せ 団体戦の組合せは、9 月 5 日 (金) 宮崎地区中学校体育連盟理事・専門部合同会において、各校体育主任の抽選で行う。個人戦の組合せは、宮崎地区中学校体育連盟バドミントン競技専門部で行う。

- 9 表 彰 (1) 団体戦優勝校に優勝旗・賞状を、2 位・3 位校に賞状を授与する。また、その登録全選手に個人賞状を授与する。
(2) 個人戦 1 位・2 位・3 位に賞状を授与する。

10 審 判 宮崎市バドミントン協会審判員及び各学校監督及び選手・補助員で行う。

- 11 参加申込 (1) 「申込書」を、体育主任を通して **8 月 2 8 日 (木) 正午**までに 2 部、地区中体連事務局 (大宮中学校) に申し込むこと。以後は受け付けない。
(2) 「申込書」のデータを **8 月 2 8 日 (木) 正午**までに、専門部 (下記) に送信すること。

赤江東中 児玉泰輔 (kodama-taisuke@miyazaki-c.ed.jp)

※ データは C 4 t h での送信も可とします。

- 12 その他 (1) 個人戦はシード制を導入する。